

1 北仲通周辺地区の歩行者動線ネットワークの基本的な考え方

MM21 地区と関内地区との結節点、回遊拠点と位置付けられている北仲通地区では、今後地区内で複数の新規事業が予定されています。これを契機に、最寄り駅や周辺地区との回遊性の強化を図り、安全性の高い動線を確保することが必要。

(既往の計画の位置づけ)

○北仲通地区まちづくりガイドライン (H25.3 改正)

- MM21 地区と関内地区を結ぶ結節点、回遊拠点であるため、地区内だけでなく馬車道などと有機的に連続性を確保するなど、周辺を含めた歩行者動線ネットワークの形成を図る。
- 人と車のそれぞれの動線を分離しつつ、人を最優先に考えた安全性・利用のしやすさ等を念頭に、地下、地上及び低層部での動線処理を行う。
- 災害に強い安全な都市空間の形成に向け、地区全体で防災性を強化する。

○新市庁舎整備基本計画 (H26.3)

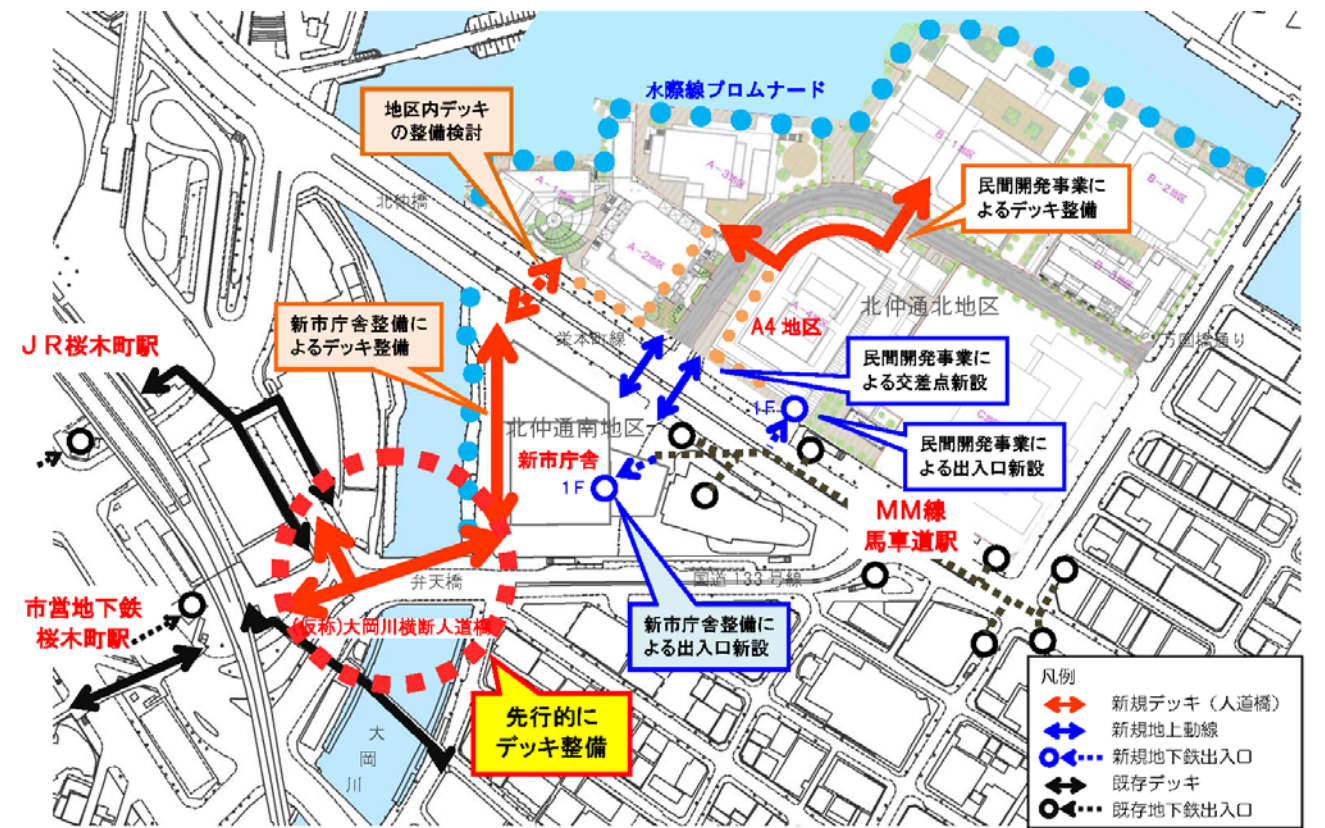
- 最寄り駅である馬車道駅との接続や桜木町駅との連絡を強化するとともに、みなとみらい21 地区や関内・関外地区とのアクセス性を確保し、**利便性や回遊性の向上を目指します。**
- 北地区と南地区の連絡性が高まるネットワーク整備を検討します。
- 津波が発生した際に、市民や来街者が緊急的に避難できるような機能を建物及び周辺に設けます。

○関内・関外地区活性化推進計画 (H22.3)

- 優先的取組の視点 「北仲結節点強化」
関内地区・みなとみらい21 地区をつなぐとともに、野毛、港町周辺、山下地区、新港地区などの周辺地区との回遊の拠点とします。

2 ネットワーク強化の方向性

北仲通地区での回遊拠点と駅を結ぶ歩行者動線ネットワークを地下、デッキレベルで確保し、車の動線と分離した安全で利便性の高い動線を形成します。また、各動線は行政による事業に限らず、民間による事業としても整備していきます。



※人道橋整備の位置は、今後の検討で変更する場合があります。